



iLEAP

「自分」の発見が「世界」を作る

iLEAP (アイリープ) は「より良い社会の変化は一人一人の内面の発見とともに生まれる」という信念のもと、独自のリーダーシップトレーニングを提供しているアメリカ、シアトルにあるNPO法人です。

自分を知ること、初めて見えてくる世界があります。

iLEAPで新しい世界への一步を踏み出してみませんか。



We believe leadership is a journey—a journey of self-discovery about who you are and what you want to do in the world.

リーダーシップは旅のようなもの。この世界において「私とは何者か」「何を成したいのか」ということを自らに問う旅なのです。



私たちのアプローチ ～Holistic Learning from the Heart～

iLEAPのリーダーシップ開発では「Holistic Learning from the Heart (心で感じるホリスティックな学び)」というアプローチをとっています。

これは頭、身体、心のすべてを使って包括的に学ぶ方法であり、従来の学びの形式である頭(知識受け取り型、講義中心型)と身体(体験学習型)だけではなく、心、つまり学びを自分の個人的な経験に結びつける内省型の学びを提供する方法です。

この包括的な方法こそが、リーダーシップ学習に必要なだと私たちは考えています。



iLEAPについて

2008年アメリカ・シアトルにて設立。以来、数百に上る日本の若者たちにリーダーシップトレーニングを提供し続けてきました。iLEAPは、自身の内と外にある資源を生かして、目的のある人生を追求し、より良い社会づくりを促進する、グローバルなマインドを持った日本の次世代リーダーを育てることをミッションとして活動しています。

さらに詳しくは、iLEAPホームページをご覧ください：iLEAP.org

過去のプログラム参加者数**512人**
(2018年9月時点)

これまでに日本全国**60**以上の
大学・大学院・専門学校から参加

連絡先



米国NPO法人iLEAP (アイリープ)
220 2nd Ave S, #217
Seattle, Washington USA 98104

電話: +1 206-588-5327

お問い合わせ: info@iLEAP.org (全般)
Japan@iLEAP.org (プログラムについて)



iLEAPオフィスが入っているImpact Hub Seattle

iLEAP Philosophy

特定の人だけがリーダーになれると思っていませんか？

立場やポジションに関係なく、リーダーシップは誰もが持っているものです。それぞれが自分のリーダーシップを仲間とともに見出し、自信と目的を持ってこれからの人生で可能性を發揮していく。そうすることでお互いが繋がりあう、強い絆で結ばれた世界を、iLEAPは目指しています。

自分の短所ばかりに目を向けて、成長を阻めていませんか？

真の成長は内側から起こるもの。短所の表面的な改善ではなく、自分のもつ思い込みや行動パターンなどを振り返り、深く自分を知ることが必要です。正解のない不確実な世界だからこそ、二極的なものの見方ではなく、包括的に自分を、そして世界を見ることが出来るスキルが、重要だと考えています。

Who are you? What do you care about? What is important to you?

「自分は何者か？」日本には、この質問に答えるのが難しいという若者が多くいます。自分が誰で、何を大切にしているかということに、意識を向けるような環境にいないからです。日本から出る、日常から離れてみるのがまず必要です。iLEAPでは、自分自身について、人生の目的について探求する、他では見当たらないような最適な空間と時間を提供します。

ー代表ブリット・ヤマモト



個別メンタリング：人生のビジョンや自己の在り方、どのような活動や仕事をしていくかなどこれからの方向性を明確にするサポートとして、個別で行うメンタリングがあります。自分の中にある夢や信念を顕在化する機会です。

※こちらは希望者のみのオプションになります。

✂ iLEAPのこだわり

深い内省を促し、未知の自分に気づく場の提供



✂
Didactic
発想の刺激



セミナー：アメリカ人大学院教授や、iLEAP専任講師による体験型授業。トピック例：リーダーシップ、社会起業、ダイバーシティ&インクルージョンなど。少人数グループでのディスカッションが多く行われます。

✂ iLEAPのこだわり

教えるセミナーではなく、一歩ずつ自己発見に繋げる工夫が満載



✂
Experiential
イノベーションへの気づき

サイトビジット（現場視察）：セミナーのトピックに関連した社会活動をする企業やNPOを訪問し、現場での取り組みを学ぶことで、包括的な理解へと導きます。

✂ iLEAPのこだわり

ソーシャルイノベーションの最先端、シアトルならではの訪問先



4つのベース、5つの
学びの方法を使った、
統合的でバランスの
とれたプログラム

✂
Collaborative
学びの相乗

グループプロジェクト：参加者同士の少人数グループで、シアトルにある提携団体から依頼されたプロジェクトを行います。実社会でのグループワークを通して、リーダーシップや自分への理解を深めます。プロジェクト内容例：ホームレス支援、フェアトレード、地域活性化、教育、食育など。

✂ iLEAPのこだわり

他者との関わりを最大限の学びに変えるiLEAPメソッド

✂
Reflective
自己理解&
ビジョンの明確化



リフレクション（内省）：参加者同士の学び合いのコミュニティの中で、それぞれの学びを共有していきます。iLEAPファシリテーターによって、プログラム中様々な場で起こる出来事を学びに繋げていくセッションです。個人のリフレクションでは、一人の人間として、リーダーとして、自分が何者であるのか、“Who I am”を見出すための様々な問いかけを行います。

✂ iLEAPのこだわり

学びを深められるような問いがデザインされたiLEAPオリジナルのジャーナル



iLEAPプログラムで得られる3つのC



Confidence:

自分に、そして自分のビジョン、生き方、選択に自信を持つ



齋藤侑里子 (2017年参加者)

日本での他者との関係や「こうでなくてはならない」といった**しがらみに囚われることなく**、自分自身や参加者・日本・社会について考えることができた。自分自身の家庭背景、自信のなさであったり、それゆえ形成されてきた生き方を見つめなおし、もっと今後はこうしていこう、**変化させたいという前向きな原動力**を得た。またその原動力をどの分野におき、いかに社会との接点を作っていくかまで描くことができた。こういった経験を20歳で出来たのは本当に自分の人生に影響しているし今後もしていくのだと思う。



Clarity:

自分のことをよく知る、方向性が明確になる、自分なりの次のステップが見える



赤木亮太 (2015年参加者)

自分のパーソナリティについて自己内省や仲間からの意見を聞くことによって、元々ある**自分自身のリーダー像を自分で認識**することができた。この経験が、どの団体に所属していても、どの活動に参加していても、現状の自分がわかっているから**ブレることのないありのままの自分**でいることができる要因であると思う。これから、大学を卒業し新たなステップへと行くが、iLEAPで見つけた自分を見失わず、なおかつどんどん積極的に自分で自分を彩っていきたい。



Community:

お互いの変化や成長を支え合い、目的を持った人生を歩んでいくための継続的なサポートコミュニティが得られる



江田翔太 (2015年参加者)

iLEAPは自分にとってまさに「家」です。今の自分が旅立った場所であり、また帰りたくなる場所でもあります。そういう場所があるからこそ、日々頑張ることができ、そして時に自分の安全圏を超えた挑戦をすることができます。こういう場であるのは、**条件なく受け入れてくれて**、親身に接してくださるiLEAPスタッフの方々だからこそ出来ることだと思います。これからもiLEAP Familyが密なコミュニティとして広がっていき、10年後や30年後やその先になっても繋がっていられるような**貴重なネットワーク**になることを願っています。



ホームステイ

プログラム中、アメリカ人ホストファミリーの家庭で過ごすことが出来ます。英語によるコミュニケーション力を伸ばすだけでなく、異文化適応力を身につけるための貴重な機会です。

シアトルってどんな街？

アメリカ西海岸に位置し、日本のように四季があり、気候も穏やかで、全米の中でも住みやすい街として知られるシアトル。都市でありながら、町中にも美しい自然が多くあり、エメラルドシティとも呼ばれています。世界各地からの移民や留学生も多く国際色豊かで、ダイバーシティ&インクルージョンを身をもって体験するには最適な都市です。

また、ソーシャルビジネスやNPOの活動も活発なため、ソーシャルイノベーションのシリコンバレーとも言われています。社会貢献度の高いマイクロソフトやスターバックスの本社、ゲイツ財団などもあります。



英語について

iLEAPのプログラムは基本的に英語で行います。発音や文法、流暢さには主眼を置かず、英語を自己表現の一つの道具として使うことで、自己理解を深めるきっかけを促します。



メインスタッフ紹介



ブリット・ヤマモト
創設者、代表

戦略策定、業務管理、パートナーシップの締結、プログラムではリーダーシップセミナーを行う。日系アメリカ人四世。熊本県菊池市に住み伝統的な有機農業を学んだ経験から、日本に深い愛着を持ち、2008年日本の次世代リーダーたちに対して持続的に大きな価値を提供するiLEAPを創設した。

iLEAPの活動に加え、ワシントン大学国際保健学部とバーモント大学のLeadership for Sustainabilityプログラムの准教授も務める。世界中のソーシャルリーダーたちにリーダーシッププログラムを提供する団体、Perennialの共同設立者でもある。カリフォルニア大学デービス校修士、ワシントン大学博士課程修了。

一言メッセージ

"Our world longs for a new generation of leadership who can inspire us to be our best selves—iLEAP is the place where we learn and grow toward a more perfect union with ourselves and each other."



ヤマモト 泉
シニアアドバイザー、
共同設立者

組織運営に関わるアドバイジングの他、セミナーのファシリテーション、「個人の成長、社会の変化、創造性、精神性」といった要素を統合した独自のカリキュラムと教材を作成。またiLEAP専任講師のトレーニングも行う。

ブリット・ヤマモト氏と同じくPerennialの共同設立者でもある。北米のソーシャルリーダー向けのプログラムを提供するRockwood Leadership Instituteの専属トレーナーも兼任。

ミドルベリー国際大学院卒、国際環境政策学修士。プロフェッショナルコーチの資格保持者。

一言メッセージ

"Let your leadership journey begin with iLEAP!"



エリクセン 恵
プログラムディレクター

プログラムの統括運営と新規開発を担当。日本とシアトルの組織・団体・大学とのパートナーシップ構築のため日米を行き来している。卒業生コミュニティ運営、リクルーティング、リフレクションのファシリテーションやメンタリングも行う。

日米において15年以上にわたる国際教育分野での経験を生かし、iLEAPでも参加者の内面から起こる真の成長を促す環境づくりを行う。

バーモント州SIT大学院卒、国際教育学修士。

一言メッセージ

「iLEAPで、自分が本来持つ可能性とともに自分の次のステップを見出してください。」



ステイシー・ミヤハラ
リレーションシップ
マネージャー

現地ホームステイのコーディネーションや開拓、イベントの企画・運営を通して参加者との関係構築を行う。プロのデザイナーとしても活動中。

ワシントン大学卒。デザイン学と哲学専攻。アジアとオセアニアで働き生活した経験もある。

一言メッセージ

"I'm excited to welcome you to my home city!"



永野 悠
プログラムアシスタント

プログラム運営における様々なサポート業務担当。渡航前からの参加者とのやりとり、現地視察やグループプロジェクトとの連絡・調整、参加者の滞在をスムーズにする支援を行う。ソーシャルメディアやウェブサイト、紙媒体を含む情報発信の管理も担当。

ワシントン大学卒。マスメディア&コミュニケーション専攻。

一言メッセージ

「シアトルのお気に入りスポット紹介します！」

高校生向け、若手社会人向けのプログラムもごさいます。プログラム内容は対象者によって異なります。詳細はJapan@iLEAP.orgまでお問い合わせください。

私たちもiLEAPを応援しています



相川千絵

グローバル教育推進プロジェクトGiFT

「いつもの活動範囲から距離を置いて、あらためて自分、コミュニティ、世界のリソースに目が向けられる点が大切だと考えます。さらに、社会的活動において先進的なシアトルで日本の市民社会活動を紹介し、リソースをつなげられるのは特にユニークな活動だと思います。」



伊藤 健

慶應義塾大学 / Social Value Japan

「リーダーシップというユニバーサルな課題に対して、日米のコミュニティを繋ぐプラットフォームとして機能することで、社会変革を推進するエコシステムを構築する役割を果たしていると思います。」

提携先一覧

これまでにiLEAPと提携してきた団体・企業・学校一覧です(五十音順)



iLEAPは社会的な活動を行うリーダー支援を行うことで、持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) に貢献しています。

